



## 環境報告書 2018



## 株式会社 駒井ハルテック












REGISTERED ORGANIZATION  
NO.0260-ISO 9001  
NO.E2066-ISO 14001



橋梁・鉄骨  
風力発電設備



# 目次

	経営理念	.....	2
	環境・品質方針	.....	2
	中期経営計画	.....	3
	環境マネジメントシステム	.....	5
	環境との調和	.....	9
	橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組	.....	15
	地球温暖化防止への取組	.....	18
	環境製品への取組（実績紹介）	.....	19
	会社概要	.....	20



富津工場



和歌山工場

※表紙写真：神田練堀町地区市街地再開発事業施設建築物新築工事（東京都神田練堀町1）



## 経営理念

『高い技術力で 夢のある社会づくりに貢献する』



## 環境・品質方針



### 基本理念

当社は、国民の生活基盤となる橋梁、建築鉄骨、風車などの製造、建設事業を通じて国民のための社会資本の整備に貢献するとともに、製造、建設に伴うエネルギーの使用や産業廃棄物などに配慮した活動により、企業の社会的責任を果たす。



### 方 針

1. 全従業員参加による環境・品質マネジメントシステムを運用し、継続的改善に取り組む。
  - ・全部門において環境・品質の目標（目的）を設定し、レビューすることで、マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努める。
2. 「顧客満足」をいただける製品の提供とサービス向上に努める。
  - ・製品に対する品質管理の徹底を図る。
  - ・無事故、無災害を目指す。
3. 環境負荷低減を目指した企業活動を展開する。
  - ・環境に配慮した設計・生産・工法への取組みを継続的に行う。
  - ・生産性の向上による省エネルギー、省資源に努める。
  - ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進を継続的に取り組む。
4. コンプライアンスおよび内部統制システムの成熟に努め、責任ある企業活動を展開する。
  - ・専門的知識や技術と経験を踏まえ総合的見地から企業活動を推進する。
  - ・企業活動に関連する法令、規制、企業倫理などの行動規範を順守し社会的責任を果たす。



## 会社を新たなステージに

“中期経営計画2017”では「技術と品質で 社会の安全・安心と 企業の更なる成長を目指す」を基本方針の下、橋梁事業と鉄構事業を主軸に強固な経営基盤を築きあげるとともに、環境事業の海外実績を生かした海外事業や新たな収益源を創出する事業の確立に向け、成長戦略と働き方改革に重点を置いた7つの具体的施策を展開して2年が経過しました。

スタート年となった2017年度は厳しい事業環境の中ではありましたが、年度方針「安全と品質、生産性向上で企業の成長と発展を図る」の下、橋梁事業保全室やICT推進室を新設し、組織力を生かした安全・生産性向上と働き方改革に取り組み、成長軌道に乗せることができました。

2年目となる2018年度は年度方針「次世代を見据えた戦略的な取組の推進」の下、ステップアップの年として7つの具体的施策を着実に実行し、なお一層の成果・効果が発揮できるように取り組みました。売上高については僅かに及びませんでした。営業利益は最終年度目標を達成することができました。社員一丸となった取り組みと関係各位のご理解、ご協力の賜物と、心より感謝致しております。

最終年度となる2019年度は過去2年に比べ環境的に一番厳しいとの予測ですが、「新たな時代に向け総合力で持続的な成長と発展を図る」を年度方針に掲げ、成長ステージ達成に向け、従来の延長ではなく、これまでの仕組みを変えながら、新たな攻める営業と新しい生産・施工システムを作り上げて、進化・高度化させ、新しい勝ち方に向けた活動を推進していきます。また、社会情勢や客先ニーズの変化を的確に捉え、将来に向けた様々な新しい課題にも精力的に取り組めます。

平成から令和へと新たな時代を迎えた今、駒井ハルテック創立10周年の節目を迎える2020年以降の次世代を見据え、「新たなステージに会社を動かす」ことに邁進いたします。

取締役社長 田中 進





### 中期経営計画2017の概要

基本方針を「技術と品質で 社会の安全・安心と 企業の更なる成長を目指す」とし、7つの具体的施策に取り組み、目標達成を目指しています。

<7つの具体的な施策>

1. 橋梁、鉄構事業の安定受注と収益力の強化
2. 生産性向上に向けた生産体制の強化
3. 補修・保全への取組み強化
4. 戦略的な技術開発・実用化の推進
5. 環境・海外インフラの受注と収益の確保
6. 安全・品質・環境に配慮した生産システムの構築
7. 人材育成と働き方改革への取組み強化



### 中期経営計画の進捗

計画2年目となる2019年3月期において売上高、営業利益の数値目標に対し、売上高は僅かに届かなかったものの、営業利益は前倒しで達成することができました。

また、具体的な施策の実施により、安全・安心の提供、受注の拡大および収益の改善へと繋げています。

<これまでの代表的な実施施策>

- ・国土交通省の橋梁工事で高評価を頂き、受注競争力が強化。
- ・オリンピック関連施設工事、海外鉄骨工事において、橋梁、鉄構、海外事業の総合力を結集した生産体制で施工。
- ・橋梁保全事業室を設置。大型の橋梁更新工事を受注し現場施工中。
- ・寒冷地仕様の風車を建設。
- ・海外橋梁、鉄骨を受注し一部現場施工済み。
- ・ICT推進室を設置。各種管理ツールを用いた生産システム化を推進。
- ・VR技術（仮想現実）を用いた安全教育システムを導入。
- ・技術継承に向けた若手技術者の育成や再雇用者の活用促進

橋梁の発注量減少、また建築鉄骨は人手不足や材料費、輸送費などの建設コストの高騰など、予断を許さない状況が依然として続くと予想されます。このように変化し、また厳しい事業環境に対し、スピード感を持って対応できる体制で具体的施策の実施を推し進め、中期経営計画の最終年度に取り組みます。



## 環境マネジメントシステム



### 会社年度方針（2018年度）

#### 『次世代を見据えた戦略的な取組の推進』

1. 安全第一、無事故無災害への取組強化
2. 橋梁事業は安定受注と利益率の改善、鉄構事業は信頼と収益力の向上、  
インフラ環境事業は受注拡大と収益確保
3. ICT活用による品質確保と生産性向上
4. 働き方改革と人材育成
5. コンプライアンスの徹底
6. 環境・品質マネジメントシステムの効果的な運用と環境負荷の低減



### 環境年度目標（2018年度）

1. 環境負荷の低減
2. 環境側面管理
3. 富津、和歌山、大阪事業所の廃棄物排出量の把握
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取組みの強化
5. ステークホルダーへのアピール



## 環境マネジメントシステム



### 主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

#### ・富津工場

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	・不具合製品管理への取組み  ・空調使用の削減	・不具合再発防止策立案、品質委員会開催毎に有効性をレビュー。 ・こまめな温度管理を実践、特に夏季、冬季の節電に注力。 ・原単位 前々年度比 －4.5％
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるように設定 ・ピーク電力対策 ・環境・省エネ委員会でのデータ管理	・環境側面管理(環境影響評価表等)を管理職に展開 ・毎月の使用電力値量把握：使用電力/操業時間比＝前年1％減 ・使用電力管理表を委員会でも共有協議会等で節電を周知
3. ・産業廃棄物量（事業系ごみ含む）を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表の継続作成と活用・報告	・月次で産業廃棄物管理表を作成 ・管理表の活用・報告までは至らなかった。
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・変更を検討すること	・混合廃棄物の減量（分別の徹底） ・分別ルール徹底、フロア管理 ・プリント取り忘れ、不要印刷の撲滅キャンペーン	・産廃分別を協議会等で周知を図るとともに、近年増加の外国人作業員宛てにイラストを掲示 ・コピー機毎の使用状況を展開し、不要印刷撲滅を啓発（委員会にて情報共有、対応推進）
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 （地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト）	・青木自治会 さくら祭り に参加 ・青木八坂神社祭礼(神輿) に参加 ・工場周辺の清掃活動	・予定通り参加、実施

#### ・和歌山工場

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	・不具合削減、UTNG半減 ・グリーンカーテン設置	・不具合(単価ベース)6.1％削減 ・UTNGデータの記録を開始 ・グリーンカーテン設置実行 ・原単位 前々年度比 +1.8％
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・事務所および場内各職場管理による分別収集 ・事務部門での統一取組み(グリーン購入、事務用品再利用) ・ピーク電力対策、省エネ小委員会でのデータ管理	・定着しており、適切に実施  ・グリーン購入、事務用品再利用を実施 ・30分単位のデマンド管理にて調整、委員会にて情報共有、随時対応
3. ・産業廃棄物量（事業系ごみ含む）を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表の継続作成と活用・報告	・作成継続・報告し、小委員会でも周知・活用
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・変更を検討すること	・混合廃棄物の減量（分別の徹底）  ・廃棄物(リサイクル)量の把握	・5S活動で不要物処理を進めたため廃棄量は増加したが、凡そ片付いたため、次年度は削減を目指す ・廃棄物量を把握・報告し、小委員会でも周知
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 （地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト）	・由良町古紙回収協力 ・『リフレッシュ瀬戸内』海岸清掃活動	・予定通り参加、実施



## 環境マネジメントシステム



### 主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

#### ・本社

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2%/前々年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の節電意識の向上</li> <li>・空調使用の削減</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不在時の消灯、パソコン電源オフ等を啓蒙</li> <li>・4階空調、18時自動オフを継続</li> <li>・クールビズ：5月～10月末冷房設定を28℃に</li> <li>・原単位 前々年度比 －8.7%</li> </ul>
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるように設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量、約5%減少</li> <li>・コピー機(枚数ベース)約1%削減</li> <li>・ゴミ排出量、書類整理により約21%増加</li> <li>・フロン法対応、空調機点検実施</li> </ul>
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット導入によるペーパーレス化</li> <li>・テナントビル方針でのゴミの分別</li> <li>・環境製品購入および再利用の促進</li> <li>・廃紙、廃棄物の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議でのタブレット使用によるペーパーレス化を推進、拡大中</li> <li>・分別を徹底</li> <li>・可能な限り“環境製品”を選定</li> <li>・機会を捉えて周知し、認識向上からの削減行動を企図した</li> </ul>
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	・ライトダウンキャンペーン（環境省）に 参加	・予定通り参加、実施

#### ・本店

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2%/前々年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員個々の節電</li> <li>・空調使用の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部分的な空調調整・管理により、使用電気を削減（原単位減）</li> <li>・原単位 前々年度比 －7.2%</li> </ul>
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・各フロア各部署が統一して取組めるよ うに設定	・1及び3の施策にて対応
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テナントビル清掃方針に合わせたゴミの分別</li> <li>・環境製品購入および再利用の促進</li> <li>・廃紙、廃棄物の削減</li> <li>・昼食等の際の持ちゴミの削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テナントビルおよび大阪市方針に従い適切に分別</li> <li>・可能な限り“環境製品”を選定</li> <li>・廃止抑制のため、コピー枚数等の見える化を実施中</li> <li>・コンビニゴミの社内廃棄を禁止</li> </ul>
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治体との連携による清掃活動への参加</li> <li>・ライトダウンキャンペーン（環境省）に 参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪マラソンクリーンUP作戦」に 参加</li> <li>・予定通り参加、実施</li> </ul>





## 環境マネジメントシステム



### 主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

#### ・大阪事業所

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロールの実施（月1回）による省エネ活動の徹底</li> <li>グリーンカーテン設置による空調機電力の削減</li> <li>工場屋根への遮熱塗装の施工による空調機電力の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロール、グリーンカーテンとも実施</li> <li>工場屋根への遮熱塗装を実施、体感効果あり、次年度に検証</li> <li>原単位 前々年度比 －23.0%</li> </ul>
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ推進委員会での動態観測の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通り実施</li> </ul>
3. ・産業廃棄物量（事業系ごみ含む）を月次集計し、四半期毎に報告すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物管理表の新規作成と活用・報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理表作成、省エネ委で情報共有</li> <li>水銀使用製品の産廃分別管理開始</li> </ul>
4. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロールの実施（月1回）によるごみ減量の徹底</li> <li>会議等におけるペーパーレス化の取組み</li> <li>省エネ推進委員会での動態観測の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネパトロールによりごみ減量の徹底に取組み中。</li> <li>月次会議、各種講習会にてPPT活用でペーパーレス化を実施</li> <li>省エネ推進委員会において動態観測情報を共有</li> </ul>
5. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪マラソンクリーンUP作戦への参加</li> <li>ライトダウンキャンペーンへの参画</li> <li>関西エコオフィス宣言実績報告の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定通り参加、実施</li> </ul>

#### ・テクニカルセンター

部門項目	具体的施策	結果
1. ・省エネ報告に於ける原単位での －2％/前々年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員個々の節電</li> <li>空調使用の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋根の遮熱塗装を検討も効果薄見込みのため断念</li> <li>原単位 前々年度比 －1.0%</li> </ul>
2. ・設定の管理項目の履行と効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙、ゴミの廃棄量、電気の使用量の確認</li> <li>減CO2内容の継続と確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目とも前年度比で変化なし</li> <li>新施策検討を行う</li> </ul>
3. ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・ 変更を検討すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>再利用の促進（古紙、ペットボトル等）</li> <li>廃棄物の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次松戸市地球温暖化対策事業（旧減CO2）を継続実施</li> </ul>
4. ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃など、1件/年/サ イト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流会（地元小学生の課外授業）の実施</li> <li>松戸TC周りの道路清掃</li> <li>ライトダウンキャンペーン（環境省）への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松戸市教育委員会に小中学校の体験学習、会社見学の受け入れ企業として登録</li> <li>近隣清掃1回/月実施している</li> <li>予定通り参加、実施</li> </ul>



## 環境との調和



### 富津工場

当社では、設置場所の気象、地形条件等にあった風力発電機の開発・生産に力を注いでいるところですが、継続的な研究・開発に資するとともに、2006年9月に1号機を、2014年2月に2号機を設置し、富津工場における橋梁・鉄骨の生産工程の電力源として、再生可能エネルギーを使用しています。



富津工場：風車1，2号機（奥が2号機）

#### 富津工場における風力発電の概要

設置者	株式会社 駒井ハルテック	
設置場所	千葉県富津市新富（駒井ハルテック内）	
用途	工場用電源 および 売電	
風力発電機	1号機	2号機
定格出力	300KW × 2基	
運転風速	3 ~ 25m/秒	
稼働開始	2006年9月	2014年2月

#### 2018年度 富津工場における風車による発電量

(単位：KWh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号機	28,423	63,423	27,546	30,574	27,848	28,799	31,428	19,137	17,548	43,572	33,091	45,746
2号機	37,310	48,060	36,110	51,066	51,317	40,859	31,299	18,942	32,652	24,570	29,845	25,126
合計	65,733	111,483	63,656	81,640	79,165	69,658	62,727	38,079	50,200	68,142	62,936	70,872

風力による発電量が、富津工場の全使用電力量に占める割合（風力発電寄与率）は、年間約13.6%となっています。

#### ◎ 地域交流

富津市青木自治会（駒井ハルテック富津寮所属自治会）が主催する『さくら祭り』に模擬店を出店しました。





## 環境との調和



### 和歌山工場

和歌山工場では、毎年恒例となった海岸清掃のボランティアに参加しています。さらに、古紙回収運動にも参加して、地域に貢献しています。

◎ 海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」：2018.6.23



◎ 古紙回収：2018. 5. 13、8. 5、11. 11



### 大阪事業所

大阪事業所では、環境省呼びかけによる「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に参加するとともに、毎年恒例となっている「グリーンカーテン」を設置し、遮熱効果による空調機への負荷低減を図るなどして、夏期の電力使用量の削減に貢献しています。

◎ グリーンカーテン



事務所 南西側



事務所 北東側



# 環境との調和



## 大阪本店・大阪事業所

本店・大阪事業所では、地域貢献の一環として「大阪マラソン」とタイアップした大阪市主催の「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」に参加し、各々のオフィス近隣の清掃活動を行いました。

～参加者募集のお知らせ～  
**大阪マラソン 11/25(日) 開演**  
**OSAKA MARATHON 2018**  
**「クリーンUP」作戦**  
 大阪にこられる方を「きれいなまち」でお迎えしましょう！  
**参加者大募集！**  
 【実施期間】平成30年11月17日(土)～11月23日(金)  
 【実施内容】大阪市内全域、道徳の道、緑の道等の沿道スペースのゴミ清掃活動を実施いたします。  
 【参加資格】個人・グループ・法人を問わず、どなたでも参加いただけます。  
 【申込期間】平成30年9月21日(金)～10月26日(金)  
 【申込方法】(1) 近畿府民体育センターで受付または大阪マラソン事務局の受付窓口へ「参加申込書」(参加グループ・個人参加)「参加人数」(清掃日時「南地区」「東地区」「西地区」「北区」)「参加希望区」などを記入ください。  
 (2) 清掃場所を管理する関係機関(センター、管理会社)等にFAX、郵送、またはお電話してください。上記の申込書に必要事項を記入し、「クリーンUP」作戦の開催に同意を表明してください。  
 【ホームページへの掲載について】  
 清掃活動が完了したら、ご参加いただいた皆様、大阪マラソンホームページにおきまして、参加申込書の「個人・グループ参加」欄に記載いただいた氏名を掲載させていただきます。掲載を希望されない方は、参加申込書の「ホームページに掲載しない」欄にチェックをお付けください。

平成31年3月  
 大阪市環境局

大阪マラソン「クリーンUP」作戦への  
 ご参加について(お礼)

時とままですご清浄のごとをお喜び申し上げます。  
 平成30年11月17日(土)から23日(金)に実施いたしました、「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
 おかげをもちまして、個人・グループ・個人など約7万人の皆さまにご参加いただき、市内各所におきましてまちの美化を推進することができました。  
 つきましては、「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」の開催時に案内しましたとおり、ご参加いただいた皆様(グループ・個人)を、大阪マラソン事務局内に掲載させていただきます(掲載を希望されなかった方を除きます)。  
 これからも、皆さまとのパートナーシップのもと、清浄で美しいまちづくりに力を注いでまいりますので、皆さま方のお力添えを賜りますようお願いいたします。  
 なお、「第5回 大阪マラソン」が、平成31年12月1日(日)に開催されますので、次回も「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」を大阪マラソン事務局に実施する予定です。本年も、皆さまのご参加をお待ちしております。

◆ 大阪市関係団体HP  
 『平成30年度「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」にご参加いただきました』  
 「<http://www.city.osaka.la.jp/marathon/0000224473.html>」  
 大阪マラソン事務局 〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1 1F  
 TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

※ F020 大阪マラソン「クリーンUP」作戦：参加者募集のお知らせを掲載しております。こちらぜひご参加ください。お問い合わせは、こちらです。  
 【お問い合わせ先】  
 「大阪マラソン「クリーンUP」作戦」 総合案内  
 (大阪府環境局環境事業推進課 担当：村井・石井)  
 〒545-8501  
 大阪府阿倍野区阿倍野1-5-1あべのビル5F 5階  
 TEL:06-6630-3230 FAX:06-6630-3581

### 平成30年度『大阪マラソン「クリーンUP」作戦』にご参加いただいた皆さま

ご参加いただきありがとうございました！

団体・グループ・個人名
小太田康方製菓(株)
5町会グループ
国華電機(株)
こぞの保育園
このはな元来！ー区長と歩こうー
粉浜2丁目町会
粉浜通合葬会環境推進部
小林町連合会
(株)勤伸ハルテック 大阪事業所
(株)勤伸ハルテック 大阪本店
小松商店会
東洋 豊光
五洋電機(株)
(株)コロナス
金剛食品(株) 大阪支店
近田 善和
THE BODY SHOP
ザパルク(株)
(株)西興 大阪工場
西大女性会
境川2丁目町会
(学)看護学院なかの幼稚園
サカタインクス(株)
阪本 平
阪本食品CJ(株)
狭くやの花園中学校・中学校
サッポロビール(株) and サッポロサッポロフーズ&レタジ(株)

20/43 (資料数:50冊)

・本店：2018. 11. 20



・大阪事業所：2018. 11. 22

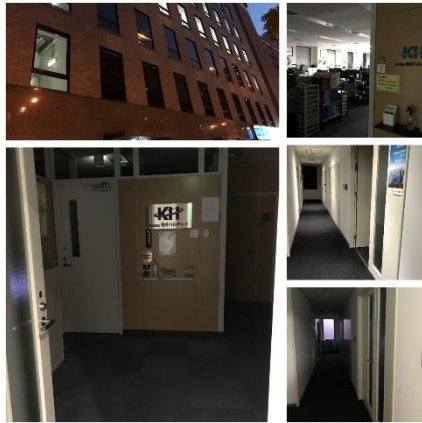




# 環境との調和

また、環境省呼びかけによる「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」でも、コラボ参加しました。

2018. 6. 21



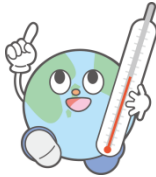
大阪本店



大阪事業所



- ◎ 関西エコオフィス運動に参加  
大阪本店は、運動の趣旨に賛同し「関西エコオフィス宣言事業所」に登録



### ■ 「関西エコオフィス運動」

京都議定書を生んだ京都を有する関西が、全国に先駆け、地域全体が一致協力して、地球温暖化対策に取り組むことが責務であるとの認識のもと、身近なところからの省エネルギー等の取り組みを実施する事業所（オフィス）を募集し、地球温暖化防止活動の裾野を広げていく運動。



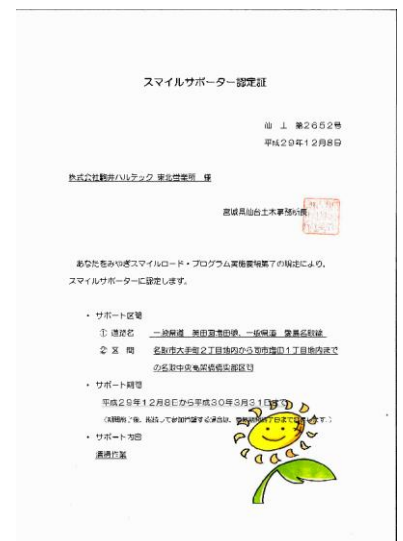
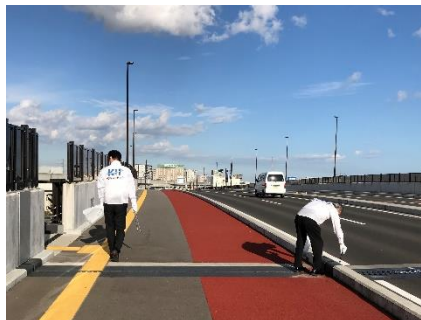
## 東北営業所（仙台）

東北営業所では、「名取中央高架橋上部工（床版工）工事」（宮城県 仙台土木事務所）のご縁で「みやぎスマイルロード・プログラム」に参画し、スマイルサポーターとして 名取中央高架橋の清掃活動に取り組みました。

2018. 6. 13



2018. 9. 28





## 環境との調和

### テクニカルセンター

テクニカルセンターでは、松戸市が2009年3月に策定した「松戸市減CO<sub>2</sub>（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）」に賛同し、2010年12月に「松戸市減CO<sub>2</sub>（げんこつ）宣言事業所」として登録し、2011年5月には[AAA（最高ランク）]に昇格して、現在も活動を継続しています。



- 「松戸市減CO<sub>2</sub>（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）」が、2018年度から「第2次松戸市地球温暖化対策事業」としてリニューアル。テクニカルセンターも松戸市地球温暖化対策事業所として引き続き登録しました。

- エコキャップ運動  
エコキャップ運動の目的「リサイクルの促進、CO<sub>2</sub>の削減、売却益で発展途上国の医療支援、障がい者・高齢者雇用促進」に賛同し、ペットボトルのキャップの収集を行っています。

※ 今年度は6,708個（15.6kg）を集め、49.14kgのCO<sub>2</sub>の発生を抑えることが出来ました。



### インフラ環境事業部

#### 風力発電システム

- ◎ 平成29-30年度途上国向け低炭素技術イノベーション創出事業／フィリピン小規模離島向け台風対策風力発電機および多用途バッテリーによる余剰電力活用システムの開発・実証

フィリピンの離島ロンブロン島に、台風対策システムを付加した当社の300kW風力発電機3機を導入し、従来のディーゼル発電機による発電の一部を代替しています。



小規模な電力系統で、より効率的に再生可能エネルギーを活用するため、夜間などに余る風車からの電気を、電動二輪車のバッテリーに充電する仕組みを本田技研工業と共同で開発・実証しています。



電動バイクの走る街中から見える風車



## 太陽光発電設備（スカイソーラープロジェクト）

### ◎ スカイソーラーのメリット（弊社HPから抜粋）

大部分が山地である日本は平地部分が小さく、用途制限のない地域は極わずかです。そのため、多くの平面を要するメガソーラー事業に適する土地を確保しづらいのが現状です。

中村勉総合計画事務所と駒井ハルテックは、現状の地形や土地利用を維持しながら、上空を活用するソーラー事業を提案します。

- ケーブル式スカイソーラー：ハイポールに張ったケーブルに、ソーラーパネルを配置した吊構造です。



2015年8月から2016年6月まで富津工場で実証試験をし、安全性が確認されたため、松戸テクニカルセンター（TC）に移設して、商業運転を開始しました。（発電電力は東京電力に売電しています）

所在地：千葉県 松戸市

施主：（自社施設：駒井ハルテック松戸TC）

形式：上空ソーラー発電システム（14.5KW）

特記事項：ケーブル懸架型空中太陽光発電装置を開発（特許取得）

支柱間：22.4m、支柱高：4.5m

- ハイポール式スカイソーラー：等間隔に設置したハイポールに梁を通し、ソーラーパネルを配置します。



所在地：福島県 会津若松市

施主：富士電機株式会社

形式：上空ソーラー発電システム（1.3MW）

特記事項：ハイポール型太陽光発電設備架台の設計、製作基礎工事、据付を実施した。また積雪対策として融雪設備設置工事を実施した。



## 橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



### 安全・環境パトロール

橋梁架設現場は、都心部、市街地はもちろん山間部、渡河部、海岸付近など自然と共存する場所での作業が多いことから、環境保全に対して細心の注意を払って作業を進める必要があります。

当社では、建設現場関係者（現場責任者、協力会社、店社管理者、安全管理室）と連携し、作業環境の安全性並びに周辺環境への対応の適切性の確認、現場作業従事者の安全意識の高揚を目的に、安全・環境パトロールを毎月、全稼働現場にて実施しています。

2018年度も引き続き、建設現場における作業環境（騒音・振動、水質汚濁、産業廃棄物、現場特有の環境側面等）に重点を置いて、全国に点在する現場のパトロールを実施しました。



パトロール風景



### 環境に対する個別取組

#### ■ 騒音・振動対策、排出ガス対策

建設現場の騒音や振動の低減・防止、建設機械からの排出ガス規制の順守を図るため、低騒音・低振動タイプ、排出ガス規制適合の建設機器、重機などを選定しています。また、車両等の待機時の排出ガス抑制のために、アイドリングストップを推奨、指導しています。



#### オフロード法（※）少数特例表示

年間の製作又は輸入台数が30台以下

- ① 規制適用日に製作したものと同一のモデル
- ② 継続生産車の規制適用日に輸入したものと同一のモデル
- ③ 海外の排出ガス基準に適合したもの

※ オフロード法：正式名称「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（H18.4.1施行）」





## 橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



### 環境に対する個別取組

#### ■ 騒音・振動対策、排出ガス対策



#### 第3次排出ガス対策型建設機械指定制度表示（可搬式建設機械の表示）

オフロード法又は道路運送車両法により排出ガス規制を受けていない建設機械（発動発電機、小型バックホウ等）メーカーから申請、国土交通省が指定後、表示が可能  
第3次排出ガス対策型建設機械指定制度で定められた技術基準を満たす。



#### 超低騒音型建設機械表示

「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）の騒音基準値から6dB減じた値を下回る騒音の測定値を得た建設機械。

#### ■ 水質汚濁防止

海、河川付近の橋梁建設現場では、海、河川等の用水路の汚染を防止するため、建設機器、重機などの日常点検・整備を実施し、油漏れ等による海、河川汚濁の防止を心掛けています。また、緊急時に備えてオイル吸着マット等を常備し、作業者に周知しています。





## 橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



### 環境に対する個別取組

#### ■ 産業廃棄物の分別

建設現場より発生する廃棄物は、廃棄物ごとにゴミ箱を設置し分別を徹底することで、廃棄量の削減とゴミのリサイクル資源化に努めています。



### 橋梁現場における地元交流

施工現場各地で工事見学会を開催し、地域との交流を図るとともに、施工内容への理解を深めて頂きました。



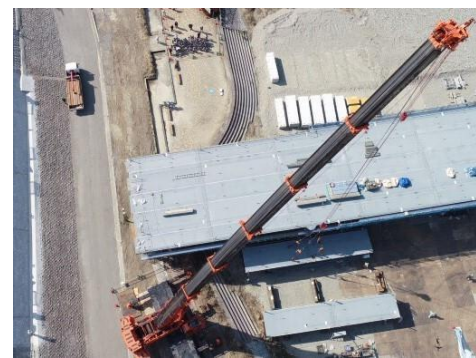
大津信楽線 新6号橋



東海環状 大泉1高架橋



日高豊岡南道路 日高神鍋高原 I C橋



岩出野上線 諸井橋

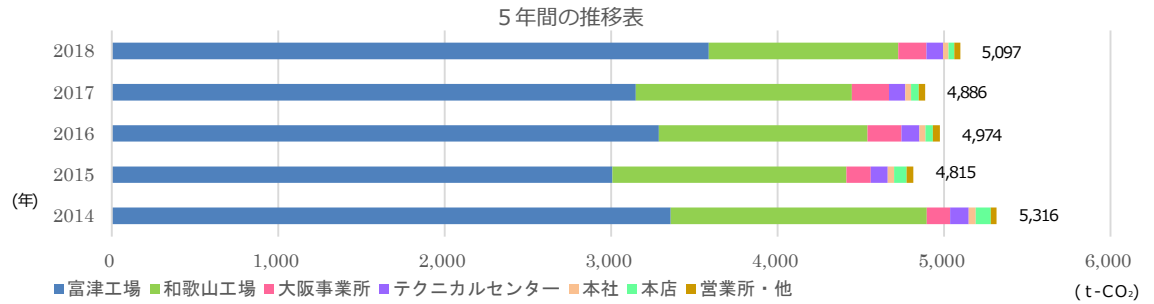


## 地球温暖化防止への取組

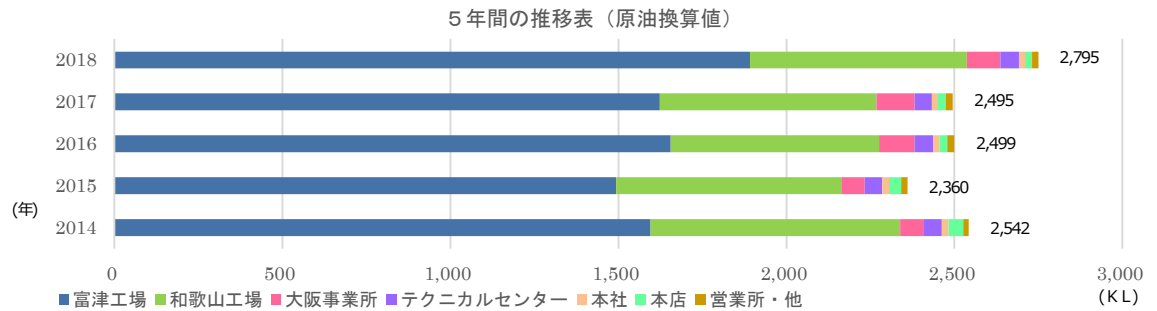
当社では地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>排出量の削減のため、省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。製造工程では、ピーク電力を抑制する工程立案などさまざまな方法での効率改善化、生産設備導入の際には消費電力量の考慮等、省エネ視点での活動によりCO<sub>2</sub>排出量の削減を図っています。



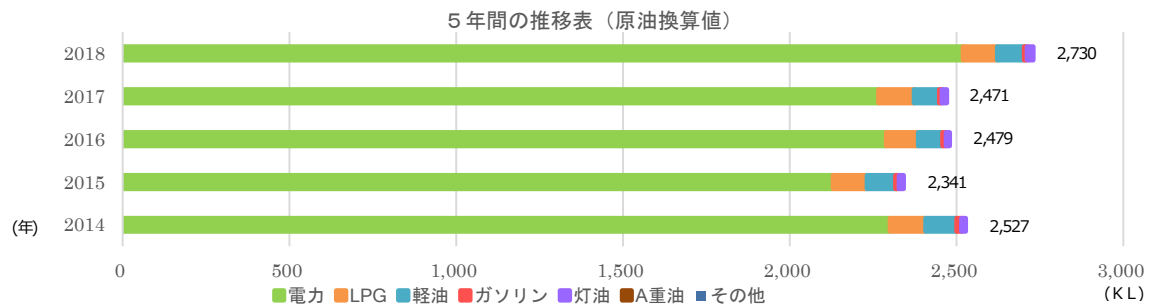
### CO<sub>2</sub>排出量の推移



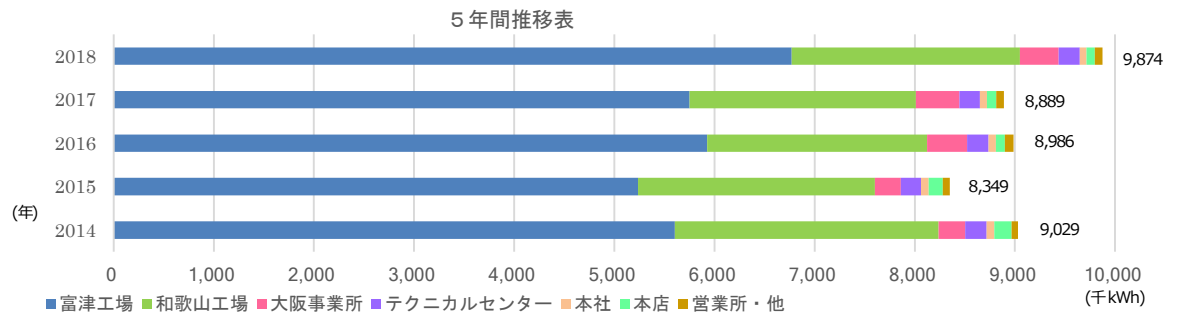
### エネルギー使用量の推移



### エネルギーの種類別の推移



### 電力使用量の推移





## 環境製品への取組（実績紹介）

当社は、開発する製品に対し環境負荷低減を追求しエコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発に取り組んでいます。



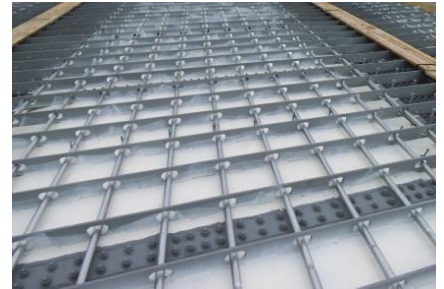
### パイプスラブ（鋼コンクリート合成床版）

パイプスラブは、リブ（孔明き鋼板）とパイプ（構造用鋼管）とで構成された鋼板パネルがコンクリートと一体化することにより、大きな耐力と高い耐久性を実現した「鋼コンクリート合成床版」です。

「安（安全、安心）」「新（新技術、新発想）」「短（短工期）」による建設コスト削減も特徴ですが、その高耐久性ゆえの長寿命化により、架け替えなどの更新期間の長期化が可能となり、施工に係る環境負荷が低減できるという利点があります。

※ パイプスラブは、日本ファブテック㈱、㈱HIインフラシステムおよび当社の3社による共同開発商品です。

NETIS 登録：KK-040071-V



### らくらくブラケット（落橋防止装置ブラケット）

橋梁の落橋防止装置では、下部構造物（橋台、橋脚）の状況を現地調査し、さらにアンカーボルトの施工では既設鉄筋との干渉を避けるため、ブラケットの設計・施工では多大な費用負担と細心の注意が求められ、ブラケットの再製作や改造が必要になることもあります。

「らくらくブラケット」は、施工者の立場から、建設コストの削減、品質の向上、工期短縮を目指して開発された“工場製品”です。

（既製品化、多様な現場状況への対応システムにより“現場”施工期間の短縮を実現。現場施工による環境負荷の低減に寄与できます。）

NETIS 登録：CB-100048-V



### アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法

「アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法」は、アクリルゴムを用いてコンクリート表面の剥落・劣化を防止する「コンクリート表面保護工法」で以下のような特長があります。

#### ■ 「環境に優しい」

有機溶剤を一切含まず、オール水系材料としました。

#### ■ 「コンクリートに優しい」

水蒸気透過性を従来以上に高め、コンクリート内部に残留している水分を発散できるようにしました。

#### ■ 「メンテナンスが容易」

既設塗面を剥ぎ取ることなく、重ね塗りが可能です。

（剥ぎ取りの廃棄物を出さないことでECOを実現）

#### ■ 「安価」

塗り重ね回数を6回から4回に減らし、材料及び施工面での経済的な優位性を実現しました。

※ 「アロンブルコート®Z-X、Z-Y工法」は、東亜合成㈱と当社の共同開発商品です。

※ 文中の比較対象製品は共同開発者の東亜合成㈱の従来製品です。

※ 表面被覆材（下塗材）の内、アロンブルコート®P-300 は、グリーン購入ネットワーク（GPN）が運営する『エコ商品ねっと』に掲載されている商品です。なお、同サイトは多様な分野の環境情報を掲載し、商品選択の際に比較可能な環境データベースを公平に提供するもので、個別の掲載商品を推奨するものではありません。

NETIS 登録：CB-120013-VR





## 会社概要



### 会社概要

商号 株式会社駒井ハルテック KOMAIHALTEC Inc.  
 資本金 66億1,994万円  
 株式上場 東京証券取引所 市場第一部  
 建設業許可 国土交通大臣 許可 (特-28) 第142号  
 橋梁、鉄骨、風力発電設備、その他鋼構造物の設計、製作、建設、診断、  
 補修、土木・建築工事の設計・請負、風力発電機による売電事業  
 ISO9001、ISO14001  
<https://www.komaihaltec.co.jp/>



### 事業所

本社	〒110 - 8547	東京都台東区上野一丁目19番10号	TEL 03(3833)5101
本店	〒550 - 0012	大阪市西区立売堀四丁目2番21号	TEL 06(4391)0811
札幌営業所	〒060 - 0001	札幌市中央区北一条西四丁目2番12号	TEL 011(251)1605
東北営業所	〒980 - 0014	仙台市青葉区本町二丁目1番29号	TEL 022(227)8724
群馬営業所	〒370 - 0831	群馬県高崎市あら町129番1号	TEL 027(384)4863
※ 2019年9月18日開設 ISO未認証 (2020年度取得予定)			
名古屋営業所	〒460 - 0003	名古屋市中区錦二丁目20番8号	TEL 052(684)8121
和歌山営業所	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷805番2号	TEL 0738(65)2841
中国営業所	〒730 - 0036	広島市中区袋町5番38号	TEL 082(247)4838
九州営業所	〒812 - 0013	福岡市博多区博多駅東二丁目4番17号	TEL 092(441)3665
富津工場	〒293 - 0011	千葉県富津市新富33番10号	TEL 0439(87)7470
和歌山工場	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷805番2号	TEL 0738(65)1234
大阪事業所	〒555 - 0041	大阪市西淀川区中島二丁目5番1号	TEL 06(6475)2111
テクニカルセンター	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台404番1号	TEL 047(387)0170



### 連結子会社

東北鉄骨橋梁(株)

【岩沼工場】 〒989 - 2421 宮城県岩沼市下野郷字新関迎230番 TEL 0223(22)1611

【本社】 〒980 - 0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目14番27号 TEL 022(221)7511

(株)シップス 〒270 - 2214 千葉県松戸市松飛台404番1号 TEL 047(384)5281

(株)プロバンス 〒270 - 2214 千葉県松戸市松飛台404番1号 TEL 047(388)4630



**KOMAIHALTEC Inc.**